

ティーチング・ステートメント

所属 保健医療学部看護学科

名前 石川 幸司

作成日 2024年2月26日

【責任】

保健医療学部看護学科に所属している。主たる教育活動として、授業科目（成人看護学援助論演習Ⅰ、成人看護学援助技術論演習Ⅰ、成人看護学実習Ⅰ、災害看護、看護学研究法、卒業研究）を担当している。また、クラス担任として、教育課程における学修の積み上げを確認し、適切な履修計画や医療従事者としての倫理的規範を修得できるようにPF面談を通じた教育を実施している。

【理念】

理念として、3つの項目「医療現場で活用できる力を身につけてほしい」「専門職として学び続けてほしい」「医療チームで働く力を身につけてほしい」を設定している。

近年、医療技術は高度化しており、単に知識を覚えるだけでは活用できないことも多い。さらに、人は疾患だけではなく個性や社会背景などの複合的な要因があり、同じ疾患でも対応が異なる場合も多い。そのため、日々進歩する技術に追いつくためにも専門職として学び続ける姿勢を持ち、学んだ知識を対象者に当てはめて考える応用力を身につけてほしい。また、医療現場は多くの職種で成り立っており、チームで協働することが不可欠である。仕事を分担するだけでなく、お互いが何をやる役割を持った職種なのかを理解し、同じ職種内でも協働できる知識と姿勢を理解してほしい。そのような医療者として必要な資質に気づいてもらえるような教育活動ができる教員を目指したい。

【方針・方法】

理念を達成するために、「学習目的を明確にできる」「知識の獲得だけではなく、応用力を身につける」「他者と意見交換をして学びを深める」「他者の話を聞く姿勢、意見を尊重する姿勢を身につける」「多職種の役割を理解する」という方針を立てた。

方針1 学習目的を明確にできる

方法1 専門職として学ぶ必要性について各科目を通して伝える

方法2 授業科目、授業内容において学習する目的を共有する

方法3 目的を達成するために必要な課題を自ら見出すことができるように支援する

方法4 学生が自己課題を達成するための方法に気づけるように支援する

方針2 知識の獲得だけではなく、応用力を身につける

方法1 教科書の知識を伝えるだけではなく、それをどういのかを伝える

方法2 教科書だけではなく、授業資料（PPT）を作成する

方法3 実際の医療現場での事例をふくめて、学生がイメージしやすいように伝える

方針3 他者と意見交換をして学びを深める

方法1 一方的に説明するのではなく、学生にも発言する機会を設ける（双方向となるように）

方法2 学生グループで話し合ってもらおう

方針4 他者の話を聞く姿勢、意見を尊重する姿勢を身につける

方法1 グループワークに臨む姿勢として聞く重要性を伝える

方法2 医療職として患者の話を聞く重要性を伝える

方法3 学生グループで話し合ってもらおう

方法4 話し合った内容をプレゼンテーションし、クラスで共有して議論する

方法5 議論から学びを内省させる

方針5 多職種の役割を理解する

方法1 多職種が協働するために必要な要素を教授する

方法2 急性期における看護師の役割について伝える

方法3 同じ領域における多職種の役割について伝える

【成果・評価】

- ・ 授業の感想として、救急・災害の現場についてリアルにイメージできたという回答があった。
- ・ 病院実習（医療現場）に行く前に、必要な技術などを学習できたと感想があった。
- ・ 卒業研究で、テーマにした内容が現場に必要な知識として身になったと感じていた。

【目標】

- ・ 知識を応用できるような授業設計となっているか見直す
- ・ 学生の意見を引き出せる教育活動ができる環境を整える
- ・ 卒業後も研究活動続けるゼミ生を育てる